

## 令和4年度研修並びに活動方針・活動計画

- 1 管理職としての自覚を高め、資質の向上をめざす。
  - (1) 全国共通研究課題の解決・改善に向け、組織的・継続的に取り組む。
  - (2) 全国公立学校教頭会研究大会岩手大会及び九州地区公立学校教頭会研究大会鹿児島大会に参加し、研修の推進を図る。
  - (3) 佐賀県公立学校教頭会研究大会を開催し、各地区における研修を深めながら、県教頭会の充実・強化を図る。
  
- 2 当面する教育課題の改善、充実に努める。
  - (1) Society5.0時代の到来や、新型コロナウイルスの感染拡大など予測困難な状況の中においても、学習指導要領の趣旨を踏まえ、「令和の日本型学校教育」をめざした教育課程の実施と「生きる力」を育む豊かな学校運営に努める。
  - (2) 「誰一人取り残さない社会の実現」というSDGsの理念を意識した教育活動を推進する。
  - (3) 「開かれた教育課程」の実現をめざし、家庭・地域との連携協力を密にした「地域とともにある学校づくり」を進める。
  - (4) 児童生徒の健全育成をめざす心の教育の推進と生徒指導の充実に努める。
  - (5) 児童生徒の安全確保のために、地域・家庭・学校が連携・協力して危機管理体制を構築し、役割と責任を持って職務遂行に努める。
  
- 3 教頭の専門性についての研究を深め、提言能力のある職能集団をめざす。
  - (1) 学校を組織的に運営するために、学校評価、教職員人事評価制度について実践的研究を深め、学校の活性化を図る。
  - (2) 児童生徒一人一人へのきめ細かい指導の充実のために、教頭の指導性を高める。
  - (3) GIGA スクール構想の実現をはじめとした多様な学習に対応するために、施設・設備等の教育環境の改善や充実に努める。
  - (4) 学校や児童生徒を取り巻く諸問題に的確に対応するために、実務的法制問題の研修に努める。
  - (5) 児童生徒と向き合う時間を確保するために、働き方改革を意識して職場環境の改善に努める。
  
- 4 教育水準の維持向上や教員の人材育成に努める。
  
- 5 教頭会の組織を強化し、活動の効率化と充実に努める。
  - (1) 組織の整備と機能的活動の強化に努める。
  - (2) 校長会その他の教育諸団体との連携を深める。